



CARL HANSEN & SØN

カール・ハンセン&サン 新製品情報

ナナ・ディッツェルとヨルゲン・ディッツェルのコレクション

遊び心あふれる印象的なフォルムの「ND52 ヴィタソファ」 「ND55 コーヒーテーブル」

2025年12月1日（月）より販売スタート



1908年創業 デンマーク王室御用達家具メーカー カール・ハンセン&サン（Carl Hansen & Søn）は、新たに、ナナ・ディッツェルとヨルゲン・ディッツェルによるコレクションの展開を開始します。

ナナ・ディッツェルとヨルゲン・ディッツェルは、いずれも近年のデンマークデザインを代表する存在です。

1950年代の厳格な機能主義と決別した彼らは、大胆で革新的なデザイン表現を通じて、遊び心や自由な動き、対話を促すような家具を生み出しました。

こうした探求心を体現する「ND52 ヴィタソファ」と「ND55 コーヒーテーブル」が、今回、デンマーク家具の名作を幅広く取り揃えるカール・ハンセン&サンのコレクションへと加わりました。

ND52 Vitaソファ

ナナ・ディッツェルとヨルゲン・ディッツェルの3人の子どもたちは、二人のデザイン哲学に大きな影響を与える存在でした。1952年に発表されたソファには、娘ヴィタの名前が冠されています。エレガントな木製フレームの上に、まるでバランスを取るかのように浮かぶオープンシェルの彫刻的なフォルムには、彼らの実験的なアプローチが色濃く表れています。柔らかなシルエット、背の高いバックレストやアームレストなど、有機的なデザインによって、自然と腰を下ろしてくつろぎたくなるような穏やかな雰囲気醸し出します。どの角度から見ても美しい無垢材のフレームは、控えめな外観でありながら、張り感のある張地によって、さりげないスタイリッシュさが際立ちます。このソファは、住宅はもちろん、商業空間にも適したデザインです。

「ND52 Vitaソファ」には、カール・ハンセン＆サンが熟練した家具職人と椅子張り職人が厳選して調達した素材を使用しています。

シートクッション、ボタン、バックレストには、ファブリックまたはレザーが丁寧に手作業で張られています。

ND55 コーヒーテーブル

1955年に発表された「ND55 コーヒーテーブル」は、機能性に遊び心を加えたデザインが特徴です。

一見、シンプルなコーヒーテーブルのようですが、よく見ると、機能的な差し込み式の伸長板が美しく一体化しています。

取り付けられた伸長板を持ち上げテーブルの中央に差し込むことで、簡単にテーブルを拡張することができます。

無垢のオーク材またはウォルナット材を使用したこのテーブルは、丸みを帯びた縁と艶消し加工が施された真鍮製金具がアクセントとなり、デンマークの自社工場で生産されています。

カール・ハンセン＆サン CEO /3世代目オーナー クヌード・エリック・ハンセンのコメント

「ナナ・ディッツェルとヨルゲン・ディッツェルは、業界の『異端児』として、知的にも技術的にも常に限界に挑戦し、不可能を可能に変えようとしていました。その姿勢は非常に貴重であり、二人はすぐに有名なデザイナーコンビとなり、デンマーク国内外で成功を収めました。今回、ディッツェルの作品群から遊び心あふれる2点の家具を加えることで、当社のコレクションをさらに充実させることができ、大きな喜びを感じています。」

ナナ・ディッツェルとヨルゲン・ディッツェルの娘であるデニーとヴィタのコメント

「ソファとコーヒーテーブルが、カール・ハンセン＆サンのような名高い家具メーカーによって復刻されることを非常に喜ばしく思っています。いずれの家具も、引き続きデンマークで、品質、クラフトマンシップ、美に一切妥協することなく、可能な限り原型に忠実に生産されることは、私たちにとって非常に大きな意味を持ちます。カール・ハンセン＆サンは、家具の形状と歴史の両方に深い敬意を払いながら、元のデザインを見事に改良してくれました。ソファとコーヒーテーブルが、カール・ハンセン＆サンのコレクションの一部として蘇ったことに心から感謝し、同社の尽力に対して感謝の意を表したいと思います。」

製品情報

製品名	ND52 Vitaソファ
希望小売価格	675,400円 (税込) より
サイズ (cm)	ND52 Vitaソファ (2人掛け)：座面高：42、高さ：74、奥行き：71、幅：146 ND52 Vitaソファ (3人掛け)：座面高：42、高さ：74、奥行き：71、幅：192
素材	FSC®認証オーク材 (FSC C135991) またはウォルナット材、ファブリックまたはレザー



製品名	ND55 コーヒーテーブル
希望小売価格	231,000円 (税込) より
サイズ (cm)	高さ47、奥行き61、幅53/83
素材	FSC®認証オーク材 (FSC C135991) またはウォルナット材、艶消し真鍮



高解像度画像はこちらからダウンロードいただけます。

<https://carlhansen.presscloud.com/digitalshowroom/#/selection/405672766117582>

LOOK BOOK ははこちらからダウンロードいただけます

https://presscloud.com/file/61/614908156034132/JP_CHS_Look-Book_ND52-ND55.pdf

IMAGES



ナナ・ディッツェル&ヨルゲン・ディッツェル プロフィール



デンマークの建築家ナナ・ディッツェル (1923-2005) とヨルゲン・ディッツェル (1921-1961) は、実験的で型破りなデザインを追求し、共同でのキャリアを通じてデンマークのデザインに大きな足跡を残しました。二人の革新的な作品は、伝統的な機能重視のデザインの再考を促し、数々の国際的なデザイン賞を受賞しています。

コペンハーゲンで育ったナナ・ディッツェル (旧姓ハウベルク) は、自由への強い憧れと、日常の身近なものをよりよくしたいという情熱に常に突き動かされていました。ナナはこのようにして、1940年代の若い女性には非常に珍しいキャリアを選び、家具職人として、そして後にデンマークデザイン学校およびデンマーク建築学校で家具デザイナーとして研鑽を積むこととなりました。

ナナ・ディッツェルと椅子張り職人のヨルゲン・ディッツェルは、コア・クリントなどのもとで学びました。現在、先駆的な改革主義者と見なされているクリントは、スタイルを至上とする伝統的な教え方から離れ、建築や家具デザインを実用的な観点から考えるという革新的な理念を取り入れました。しかし後に、ナナとヨルゲンはクリント派の思想を離れ、1940年代の国際的なデザインシーンで隆盛を誇った有機的モダニズムにインスピレーションを受け、想像力を自由に発揮して、大らかなデザインを生み出しました。

ナナとヨルゲンは1946年に卒業後、結婚し、デザインスタジオを立ち上げました。二人のコラボレーションは非常に成功し、伝統的なデザインの慣習を打ち破るようなさまざまな家具を共同で生み出しました。そのデザインは、空間を考慮しつつ、人間の体に基づいて行われ、馴染みのある材料や製作方法にも批判的でした。二人のデザインと、新しいフォルムや機能を目指す姿勢は、ある意味で自由な遊びのようなものであったとも言えます。自由で豊かな生活を支える家具を作ろうとし、その中には自らのニーズから生まれたものも少なくありませんでした。1954年にナナとヨルゲンがデザインした伝説のハイチェアは、現在ではデンマーク文化の金字塔の一部を成しています。二人は共同でデザインを生み出した15年の間に、世界的に有名なミラノ・トリエンナーレとルニング賞で金賞と銀賞の両方を獲得しました。変化と革新を積極的に受け入れ、当時の前衛的なデザイナーの中心的存在となり、国際的にもそのアイデアに共鳴する人々を得ました。

ヨルゲン・ディッツェルは1961年に病に倒れ、わずか39歳でその短い生涯を閉じました。ヨルゲンの死後、若いナナ・ディッツェルは3人の幼い子どもたちの世話と2人のデザインスタジオの経営に忙殺されましたが、それにもかかわらず、自身の表現力をさらに高め、今日ではデザインの名作とされる幅広い作品を生み出しました。その後、ナナは一度ロンドンに転居しますが、1987年にコペンハーゲンに戻り、自身の名前を冠したデザインスタジオを再設立すると、家具、日用品、ジュエリー、ファブリックなどの分野で表現力豊かなデザインを生み出し、デンマーク屈指のデザイナーとしての地位を確立しました。ナナは2005年に亡くなるまで、スタジオの運営を続けました。

プレス関係のお問合せは下記までお願いいたします。

カール・ハンセン&サン ジャパン株式会社

Head of Marketing & Communications, Japan マーケティング・コミュニケーション部門責任者
阿部理歩 AYAHO ABE MAIL : ayab@carlhansen.jp

カール・ハンセン&サン ジャパン PR SUPPORT

株式会社ハウ MAIL : chs_pr@how-pr.co.jp TEL : 03-5414-6405

製品に関するメディア掲載時のクレジットは下記記載をお願いいたします。

カール・ハンセン&サン 東京本店/カール・ハンセン&サン大阪 <https://www.carlhansen.com>

もしくは

カール・ハンセン&サン 東京本店 TEL : 03-6455-5522